

ぼくのノオト

⑤8 悪い徒はいねがあ

港湾内で獲れたクロソイから、基準値を超える放射性物質が検出された。

またしても、さあどうする。

海水をきれいにしろ。クロソイの出荷を止める。当たり前には、そう考える。

しかし、その関係業界や為政者の中には、港湾内の魚類を駆除しろ、放射能汚染水は薄めて流せ、と考える人たちもいる。

このあっと驚くためごろう的支離滅裂が、正論としてまかり通ってしまう不思議。その不思議の国で、息を吸い、ものを食べ、私たちは今日も生きている。

クロソイが人間でないことに、せめてもの安堵を得るしかないのだろうか。

だいじょうぶか、ニッポン。

権力に後ろ盾された知恵と、アイヒマン的道徳が人を狂わせるのは、時代のせいだけではない。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操